

平成23年度卒業式・大学院修了式

— 告辞 —

お祝いの言葉を述べる前に、東日本の大震災から1年経ちました。多くの尊い人命が失われ、今日まだ行方が分からない方もいらっしやいます。心から哀悼の意を表したいと思えます。

皆さん、卒業おめでとう。皆さんを今日まで支えてこられた御家族の方々や皆さんを御指導下さった先生方にも心からお慶びを申し上げます。

今日の卒業式には御家族や関係者の他に沖縄大学院大学のドーファン学長始め、多数の来賓の方々御列席され祝福して下さっています。

学部を卒業した皆さんのなかには、これから大学院に入学しさらに学びを深化させる人、企業や自治体等で仕事する人など、様々な分野に分かれて社会の中で活躍することになります。大学院を修了した皆さんは、色々苦勞し、時には失敗もし成し遂げた研究成果は生涯をつうじ宝物となるでしょう。大学院で培った皆さんの考える力、問題解決能力はこれからの社会に多いに役立つことになります。

皆さんが学んだ琉球大学は他の国立大学法人とは設立の経緯が大きく異なり、1950年にミシガン州立大学の指導を受け創立されています。開学以来、国際性と地域貢献を目標とし大学で得られた研究成果を地域に還元しています。さらに、特色のある沖縄の歴史・文化・社会、そして広い海で繋がるアジアや太平洋域の国々と沖縄との交流を考えますと、今後もこの地域の知の拠点としての役割を果たす必要があり、本学の国際性を特徴づけています。

他方、皆さんがこれから出て行く日本の社会は東北地方の大震災、福島原子力発電所の事故、経済の低迷、環境の問題など多くの難題が山積されています。

世界はグローバル化して行きますが、単に人の行き来が盛んになるだけでなく制度や風習、考え方の違いに対応が必要です。日本の若者に元気がなく海外に出て行かないなどと言われます。しかし、これは若者達だけの問題ではなく社会全体の問題です。皆さんが学んだ琉球大学は単に知識を教えるのではなく、皆さんが自から問題を見つけ、自分で考え解決し、自立した個人になることを重視しています。各学部は特色ある教育研究を行い、レベルの高い学問を発展させています。皆さんは琉球大学で学んだことを誇りにし、世界で活躍して下さい。

かつてノーベル経済学賞を受賞した **George Akerlof** は”**Animal Spirits**”という本を書きましたが、本の副題に人の精神が経済をどのように動かすかといった意味の言葉を記しています。人の心が経済をだめにすることもあります。皆さんは困難に立ち向かい社会を発展させる強い精神力も大学で学んだと思えます。真実を見る心、考える心、前向きに対処する心などを大切にしましょう。

皆さんの卒業に対し、色々な企業からの祝電などもとどいています。皆さんは夢と自分らしさの輝きを、そして希望をもって新しい世界へ大きく羽ばたいて下さい。社会も皆さんの活躍を大いに期待していますし、大学の私共は皆さんの明るい未来を信じ、願っています。

卒業おめでとう。

平成24年3月22日

琉球大学長

岩政 輝男